

【SRA Holdings】Special Mail (No. 147) 2017年8月

(株)SRAホールディングス 代表取締役社長の鹿島です。

本日、平成30年3月期 第1四半期決算を発表しました。

今回の発表の要点は下記のとおりです。詳細は、発表資料をご覧ください。

なお、「決算付属資料」、「平成29年7月 月次売上高速報」も併せて発表しました。

[平成30年3月期 第1四半期業績(連結) 前年同期比]

■売上高＝増収

■収益＝「粗利益」、「営業利益」が減益

「経常利益」、「四半期純利益」は増益

■受注高、受注残高＝いずれも全セグメントで増加

◎売上高：94億15百万円(1.0%増)

主な要因

- ・開発事業(3.0%増)：一部の製造業向けが増加
- ・運用・構築事業(16.2%増)：企業向けが大幅に増加、大学関連は横ばい
- ・販売事業(5.7%減)：機器販売において、(株)SRAは増加、(株)AITが減少

◎粗利益：18億32百万円(0.5%減)

◎営業利益：6億65百万円(17.0%減) 営業利益率：7.1%(前年同期8.6%)

主な要因：工事損失引当金の計上

◎経常利益：6億32百万円(19.0%増) 経常利益率：6.7%(前年同期5.7%)

主な要因：前年同期に為替差損を計上(3億6百万円)

◎四半期純利益：4億29百万円(30.8%増)

<発表資料> <http://www.sra-hd.co.jp/ir>

[平成29年7月 月次売上高]

(株)SRA、(株)AIT、国内子会社＝いずれも堅調に進捗

海外子会社＝SRAアメリカが減少しているものの、全体としては堅調

<発表資料> http://www.sra-hd.co.jp/ir/ir-news/index_2017.html

2017年度 第1四半期において、売上高は増収となりました。

収益は、工事損失引当金の計上等により、営業利益が減益となりましたが、

経常利益、四半期純利益はいずれも増益となりました。

工事損失引当金については、営業交渉を進めると共に、収益向上施策を強力に推進し、リカバリーに努めております。

第1四半期の受注高、受注残高は、いずれも全セグメントで前年同期を大きく上回っております。

今後もグループ一丸となり、施策のさらなる徹底と販売管理費の効率化に注力し、

2017年度計画達成を目指します。

皆様には引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。